



TITLE:

東亞天文協會觀測部月報

AUTHOR(S):

CITATION:

東亞天文協會觀測部月報. 天界 1933, 13(146): 238-242

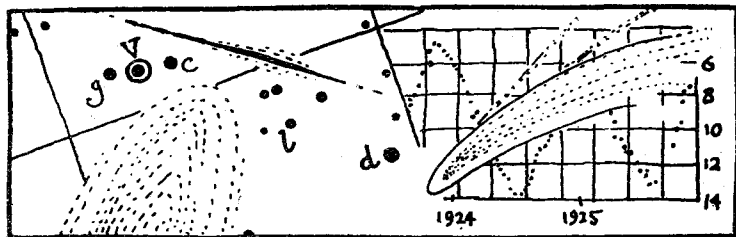
ISSUE DATE:

1933-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/162362>

RIGHT:



東亞天文協會觀測部月報

黄道光課報告 (1933年2月)

課長 荒木健兒

宵西天の黄道光は今月が最も盛な出現を見せてくれる。これは數年來の事實であつて、理論上黄道の傾斜からいへば3月に最盛の筈であるが、理由はわからない。しかし、今年に限つて非常に淡かつた。多くの觀測者はこれを不思議とし、新しい興味を以て觀測をついた。曉東天は内地では先づ絶望である。對日照は獅子座にあつて、すぐ東に火星と木星とを控へ、やがてこの兩星をも取入れ、觀測は容易ではない。

成績は一般に満足的のものである、たゞ佐野君から報告が來ないので加へられないのが残念である。

1. 觀測者及び觀測數

觀 測 者	略 符	觀 測 地	黄 道 光	月の黄道光	對 日 照
淺野英之助	As	山口縣長府町	5		
福井實信	Hk	大阪府池田町	2		
廣瀬永治郎	Hr	岐阜縣美濃町	12		9
橋本迪	Hs	兵庫縣相生町	3		
窪田繁夫	Kb	京都府福知山	2	1	
下保茂	Kh	札幌市	3		5
金森了壽	Kn	長野縣水内村	2		
沓掛七二	Kt	長野縣青木村	6		
松本武男	Mt	臺中市	4		
笹部榮一	Sb	大阪府池田町	6		1
坂元鐵馬	Sk	福岡市外箱崎	1		3
佐々木一二	Ss	京都府福知山	3		
渡邊恒夫	Wt	大分縣杵築町	3		1

2. 黄道光觀測日一覽表 (數字の下に短線を引いてゐるのは東天の觀測)

As					18	19	20	21		23				
Hk					18	19								
Hr		12	13	14		18	19	20	21		22	23	25	26 27
Hs						18			21					27
Kb				14		17								
Kh									21		22		25	
Kn	<u>3</u>								21					
Kt				14	15		18	19	20			23		
Mt			13	14		17					<u>22</u>			
Sb				14			18	19		21		23		27
Sk									20					
Ss			13								22		25	
Wt			13	14					21					

3, 3日暁の観測

金森君が3時30分といふ早い時刻に珍景をとつてゐる。あまり淡くないものであつた。明瞭に見えないことはやむを得ないが、非常に長いところに興味がある。頂點の北偏は先づ普通。

4, 宵西天の黄道光の概略

一口に淡いといつても時には明るいこともあつた。臺灣では勿論光帯がとられてゐるが、内地では見られなかつた場合が多い。又黃道光の變化も寧ろ淋しいものであつて、月の後半は殊にこの傾向があつたが、これは黃道光が淡くて觀測しにくかつたといふよりも、太陽の無黑點に影響されてゐると見たい。

5, 20日に試みられた坂元君の寫眞

2.9の普通カメラで30分間、水晶球カメラで10分間の露出で充分成功してゐる。こゝにも黄道光の淡いことが明かにされてゐる。

6, 黃道光帶は黃道光の頂點から區別し得るか？

多くの天文書には非常に細い光帯が書かれてあるが、私達の経験では光帯はそんなに細いものでなく、従つて黄道光の頂點から全く區別し得ずして 150° の離角を與へられる時と、大體區別し得て普通の離角を與へられる時とがある。今月はこの重大な問題について考へたい材料が多かつた。

7. 下保君の外形の彎曲と異狀枝光帶

22日の明瞭な光帯を19時、同30分、同50分と3回に亘つて sketch を得てゐるが、はじめ黄經 30° のあたりの北側の外形に認められた凹部が變化し、北東に向ふ枝光帯となり、この光帯と黄道光の本體とに挟まれたわづかな部分が非常に暗く見え、やがてこの光帯は消失してゐる、21日及び25日には異状はない。

8, 22日臺灣でとられた暁の黄道光

松本君が適當な時刻をえらんでゐる。先月末より餘程淡くなつてゐるが、充分認め

られた。形は低くて幅廣い、銀河と混じてゐるので正確を缺く點もあらう。

9, 11日の月の黃道光について

月出が利用されてゐるが、時刻は西天薄明中、月の薄明も入つてゐるらしく、適當な機會ではなかつた。

10, 對日照觀測日一覽

Hr		18	19	20	22	23	25	26	27	28
Kh		18	19		22		25		27	
Sb		18								
Sk	2			20						
Wt		14								

11, 對日照出現の概略

一般に形は小さい、Barnard は2月の對日照の形を Very large and round といつてゐるが、下旬には東西の方向に細長くなつてゐる。光帯も多くは西方であるが、大したものではない。

12, 20日の坂元君の詳細な等光線と水晶球による撮影

23時50分の觀測であるが、明るさの中心點が2ヶ所ある。4本の等光線によつて調べゐる。坂元君はこれを永久的光帯との重複による異形状形としてゐる。反太陽點に近い中心點と北極天との比較が寫眞によつて試みられてゐる。以上

彗星課報告

ギヤコビーデナ I (週期) 彗星 (1933c) 發見さる。

ベルグドルフのショール教授發見、位置光度は次の如し。

1933年4月23日 (U. T. 1^h 56.4^m)

α 1933.0(赤經) δ 1933.0(赤緯) mag.(光度)
 21^h 34^m 4^s +15°18' 15^m (ペガスス星座)

因みにこの發見位置は彗星出現豫報に對して、赤經+2.1^分 赤緯+1^分 の相違あるのみであつたと。

太陽課 黑點相對數報告 (1933年四月)

觀測者(地名)	松本(壺中)	渡邊(杵築)	淺野(長府)	山田(小郡)	荒木(倉敷)	改發(須磨)	伊達(雲雀丘)	大橋(京都)	宮本(花山)	龜井(花山)	木邊(近江)	森(大垣)	三澤(諏訪)	沓掛(長野)	水谷(東京)	千葉(水澤)	下保(札幌)
鏡徑(耗)	50	80	70	75	75	150	36	90	110	55	73	78	73	102	38	50	58
倍率	40	64	60	48	75	68	55	94	46	64	60	92	83	75	50	50	44
方法	直視	投影	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視	直視
1	11	旅	11	11	11	13	11	11	—	11	11	11	12	13	12	11	11
2	11	11	12	11	11	12	11	11	—	11	11	11	11	12	11	11	11
3	雨	雲	雨	雨	雲	雲	雲	雲	—	雨	雨	旅	11	11	雲	雲	雲
4	0	雲	雲	0	雲	雨	0	雲	—	0	0	旅	雲	0	雨	雨	0
5	0	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	—	0	0	旅	0	0	雲	雲	0
6	0	0	0	0	0	0	0	雲	—	0	0	旅	0	0	0	0	0
7	0	雲	雨	雨	0	0	0	雲	—	0	0	雨	0	0	雲	雲	0
8	0	雨	雨	雨	雲	雨	雨	雲	—	雨	雨	雨	0	雲	雲	雲	0
9	0	雨	雨	雨	雲	雲	雲	雲	—	雲	雲	雲	0	雲	雲	雲	0
10	雲	0	0	0	雲	雲	雲	雲	—	雲	雲	雲	0	雲	雲	雲	0
11	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雲	0	0	雲	0	0
12	0	雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	雲	雨	雨	病	雲	雨	雲	0	0	雲	雲	0	雲	雲	0	0
15	0	雨	0	0	病	0	0	雲	0	0	雨	雨	0	雲	雨	雨	0
16	0	雨	雲	雲	病	雲	0	雲	0	欠	0	雲	0	0	雲	雲	0
17	0	12	14	13	病	雲	0	雲	12	12	13	13	12	0	雲	雲	12
18	14	雨	14	16	病	26	15	11	24	14	15	23	16	雲	雲	15	16
19	16	雨	雲	雲	病	雲	雲	雲	雲	雨	雨	雲	15	雲	雲	14	14
20	18	雲	14	雲	病	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	13	雲	雲	雲	17
21	13	雲	13	13	病	雲	雨	0	雨	雨	0	雲	24	14	雲	0	26
22	0	0	0	0	0	13	欠	0	欠	0	0	0	0	雲	0	雲	11
23	0	雲	0	0	欠	0	0	欠	欠	0	0	雲	0	0	0	0	0
24	0	忙	0	0	0	0	雲	雲	雲	雲	0	雲	0	0	0	0	0
25	0	雨	雨	雨	雨	雲	雲	雲	雲	雲	0	雲	雨	0	0	雲	0
26	0	0	0	0	0	0	0	雨	0	0	0	雲	雲	0	0	0	0
27	雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	雨	雨	雨	雲	雲	0	0	0	0	0	忙	0	0	0	雲	0
平均	3	2	4	3	2	4	2	3	3	3	3	6	5	3	3	3	4
日數	26	12	18	19	11	17	19	13	14	21	22	8	24	20	14	19	29

